

年金支給停止事由該当届

<印鑑>
 浸透印はお受けすることができません。
 ご本人が自著した場合には、省略できます。

<該当することとなった事態>
 該当する数字を○で囲ってください。

<年金証書番号>
 年金証書の番号を右詰めでご記入ください。
 前ゼロは省略できます。

厚生年金基金 年金支給停止事由該当届

(提出先)

厚生年金基金 御中

平成 年 月 日 提出

このたび、下記に該当することとなりましたので
 お届けします。

フリガナ		③ 印鑑	④ 性 別	⑤ 生 年 月 日	①基金の年金証書番号 明 治 年 月 日 大 正 年 月 日 昭 和 年 月 日
②氏 名		鑑	男・女		
フリガナ	郵便番号				電話 ()
⑥住 所					
⑦該当することとなった事態 (該当する数字を○で囲ってください。)	⑧該当することとなった日など	(添 付 書 類)			
1. 受給権者であるが、70歳未満で再びこの基金の加入員となった。	平成 年 月 日 (加入日現在年齢 歳)	基金の年金証書 (事業所経由)			
2. そ の 他	平成 年 月 日				
⑨上記1.の場合の事業所(会社)名	(名 称)				
	(所在地)				

基金 欄			
---------	--	--	--

受付日付印

〔記入上の注意〕

1. 「①基金の年金証書番号」はお手許の厚生年金基金年金証書の証書番号(受給権者番号)を記入してください。
2. 「③印鑑」は、先に提出した退職年金裁定請求書と同じものをご使用ください。
3. 「⑦該当することとなった事態」は、該当する欄の数字を○印で囲み、「⑧該当することとなった日など」に日付等それぞれ記入してください。

No.4891-11(冊)(1×25) 11.06 TF